



発行: 東港金属グループ
 編集: 東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <https://www.tokometal.co.jp/>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*令和2年、といっても令和最初のお正月、北海道や日本海側では残念ながら雪模様のところが多く、期待した初日の出はTVニュースでの遙拝となりました。東京では日の出時間に雲が出て地平線からの日の出は見られませんでした。雲の間から太陽が顔を出してくれて、各地で歓声が上がってそうです。そしてはや・2月3日は節分。節分は、まさに季節の分け目、翌4日は立春です。例年、立春になると上は春ですが、名のみの春で本格的な寒波の季節です。しかしこのところの温暖化の影響でしょうか、札幌の「雪まつり」や秋田の「かまくら」でも雪を集めるために大変苦労している様子。このまま今年の夏も台風は多いのでしょうか、気になるところです。
 *一方今年の廃棄物問題では、廃プラスチック以外でも色々深刻な事になって来そうな気配です。お正月のお節(おせち)も、デパートやスーパーでは例年に比べて売れ残りが少ないと感じました。食品ロスにも気配りを始めて生産量を調整していることが感じられます。それは、節分に流行となっている「恵方巻」でも顕著です。コンビニの前には予約制の掲示が有りました。国中で今年の年頭目標に「無駄をなくす」を入れた人が多いのでしょうか。この傾向が積み重なると良いですね。
 *東港金属グループは非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を「いつでも」お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



☆ 羅針盤 鉄・非鉄スクラップ・市況からの2月予測

営業部 Y の考察

鉄スクラップ → 考察) 1月は、指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格が25日3回に分けて500円づつさがり最終的には23,500円/トン。海外の価格の下落が原因と思われる。2月は、発生減ですが、電炉の減産もありさらに下がると考えられます。

銅 → 考察) 1月はLME6,100ドル台/トン、国内銅建値700,000円/トンでスタート。その後9日に10,000円あげ14日に20,000円/トン上がるなど好調な年明けになりましたが、中国での新型コロナウイルスの世界的拡大により、需要減少になり最終的にはLME5,600ドル台/トン、国内銅建値670,000円まで下がりました。
 2月も新型コロナウイルス問題のめどがつかない為、月初からさらに下がると考えられます。

アルミ → 考察) 1月はLME1,800ドル台/トンでスタートし、最終的には、1,720ドル/トンまで下がりました。中国での新型コロナウイルス感染者増加が止まらない状況や、LMEの在庫の増加、為替の円高傾向から考えると、2月は下がると考えられます。

プラスチック → 考察) 日本国内の処分場で、電池やライター、スプレー缶の混入が原因と思われる火災が頻発しています。今後は処理費の値上げだけではなく、廃棄物の中身が問題になり、分別の意識がない排出事業者の廃棄物は行き先がなくなるでしょう。そして自己防衛の為、処分場自体も分別の強化が必要になると考えられます。

1月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	×
銅	○	プラスチック	-



マイ・ウェイ 私の学生時代(1)

営業部 奥山 未央

初めまして、営業部管理2課の奥山です。普段は大森にある東京事務所にて、マニフェストの処理や契約書作成等の事務全般を担当しております。東港金属に入社して2年と少し経ちまして、ついに順番がまわって来てしまった...という思いで筆を取っております。学生時代に遡って、東港金属に入社するまでのお話をさせていただきたいと思いますので、何の面白みも無いかもしれませんがお付き合い下さい。



☆ 羅針盤 改正フロン排出抑制法

今回は、今年4月から施行される改正フロン排出抑制法についてご紹介いたします。

法改正の背景はフロンの「機器廃棄時の回収率低迷」への対応と、合わせて「地球温暖化」対策としての排出抑制が上げられます。フロン類は、これまで、オゾン層を破壊する「特定フロン(CFC、HCFC)」からオゾン層を破壊しない「代替フロン(HFC)」への転換が進められてきましたが、代替フロンも二酸化炭素(CO2)の100から10,000倍という強力な温室効果を持っており、現在利用している機器からの排出抑制が喫緊の課題です。

【改正フロン排出抑制法の概要】
 機器を廃棄する場合には、フロン回収率向上のため、関係者が相互に確認・連携し、現行法で規定している行程管理制度(記載・交付・保存)を徹底し、機器の廃棄時のフロン類の回収を確実にされる仕組みとしております。

◆次に関係する方々の立場毎の改正点のポイントを御案内致します。

- 【機器管理者の方】**
- ・業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のフロン類を回収しないまま機器を廃棄すると、行政指導などを経ることなく即座に刑事罰(50万円以下の罰金)の適用対象となります。
 - ・点検の記録は、機器を設置してから廃棄後も3年間保存してください。
 - ・廃棄物・リサイクル業者に機器を引渡す際には、引取証明書の写しを作成し、機器と一緒に渡してください。
 - ・解体工事の場合には、元請業者から事前説明された書面を3年間保存してください。
- 【建設・解体業者の方】**
- ・建物解体時の規制が強化されました。
 - ・工事発注者は、フロン類を回収しないまま機器の廃棄を行った場合は即座に50万円以下の罰則
 - ・建設・解体業者は、解体する建物において業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器の有無を事前確認し、その結果を書面で発注者に説明。その書面の写しを3年間保存してください。
- 【廃棄物・リサイクル業者の方】**
- ・フロン類の回収が確認できない機器の引取りは禁止され、違反した場合には50万円以下の罰金が科せられます。ただし、充填回収業者として自らフロン類を回収するときは引き取ることができます。

大田区生まれ・大田区育ちの私は、小さな頃からスポーツ全般はからっきしダメで、美術やら技術・家庭科やら、とにかく何かを作ったり描いたりするのが好きでした。中学生の頃には、具体的な夢などあるわけもなく、軽い気持ちで何の下調べもせず、将来は美大なんか行けたらな〜と漠然と思いついていました。今思えばなんと世間知らずです。高校受験で志望校を決めるにあたり、家から近く、美術系の授業が充実していた公立の高校を志望し、無事に合格しました。

いざ入学して、生まれて初めて描く油絵や専門的なデザインの授業が始まりました。これまで使っていたアクリルや水彩とは全然違う、初めて触る油絵の具・初めてのキャンバス張りにワクワクが止まりません。アトリエに充滿する油絵の具の独特の匂いが今でも思い出されます。が、感動もそこそこに、すぐに自分がいかに楽観的であったかに気がきました。周りの人々が皆本当に上手いのです。自分では割と描けるしいける!と思いついていたのですが、それは1学年60人しかいない中学の授業内での話でしかなく、まさに井の中の蛙状態でした。周りの名前すらわからないような1年生の初っ端から実力差に衝撃を受けてしまい、場違いな所へ来てしまったかもしれない...と焦りましたが、やはり描くのはとても楽しく、授業にはなんとかついていけました。

しかし、月日が経つにつれて、周りとの温度差に居づらさを感じるようになりました。多くの友人は、日本画やら油絵のファインアートの道へ進みたい・空間デザインをやりたい・映像をやりたい(中には陶芸をやりたいと、進路や夢が明確になっていくのですが、私はいつまで経ってもあれをやりたい・仕事にしたいという事が思い浮かびませんでした。もちろん全員が美大を目指していたという訳ではありませんでしたが、自分の中ではどうしても、半可なり気持ちでやっていても周りに悪いと考えてしまっていたのです。今思えば、趣味と割り切って楽しんでいればよかったのですが、他にやりたい事も無かった当時の私にはそれが出来ませんでした。このまま挫折するのかしないのか...続きは次回お話ししたいと思います。ありがとうございました。

「フロン排出抑制法ポータルサイト」(環境省)より典拠及び加工して作成
<https://www.env.go.jp/earth/furon/>

フロン類は強力な温室効果ガスです!

50t-CO₂

エアコン1台分 = レジ袋 約150万枚分

トラック 地球2.4周分

※ビル用パッケージエアコン1台に含まれるフロンは約20Kg